

国営造成施設管理体制整備促進事業
(管理体制整備型)

地区事例集 - 畑地かんがい地区 -
農村振興局

平成 2 0 年 8 月 2 0 日

農林水産省

多面的機能の発揮に向けた主な取組

パイプライン施設を活用した防火訓練を通じ、消防署と給水栓使用に係る協定を締結。

用水路から小河川等へ計画的に放水し、水生動物の生育環境を保全。

地区概要

- 管理主体 : しろがね土地改良区、水利管理組合(13組合)
 関係市町村 : 美瑛町、上富良野町、中富良野町
 受益面積 : 7,400ha
 主な管理施設 : 頭首工3基、揚水機3基、幹線用水路263km、支線用水路60km、ファームポンド13箇所
 地域概況 : 美瑛町は波状丘陵型農地に囲まれた「丘のまち」として、さらには上富良野町、中富良野町を含めたラベンダー観光の中核地として、多くの観光客が訪れおり、農業水利施設周辺の景観保全が強く求められている。
 推進協議会 : 土地改良区、町、道、国、地元住民代表、消防団、まちづくり委員会
 施設管理協定 : 消防署



施設が発揮している多面的機能

景観形成機能

ファームポンドは十勝岳連峰の景色を望む展望エリアを形成。

水質浄化・生物多様性保全機能

用水路から地域内の小河川等に余水を放水することにより、地域内の小河川を浄化し、地域の景観や水生動物の生育環境を保全。

防火用水機能

地域に設置された、畑地かんがい給水栓を消火栓として利用することにより防火用水機能を発揮。



新田中ファームポンドから見た十勝岳連峰



ファームポンド放水路より小河川への放水状況



給水栓から消火用ホースに直接繋ぎ放水訓練を実施

多面的機能の発揮に向けた取組

景観形成機能

農業イベント等を開催し、施設の持つ多面的機能を積極的にPR。地域住民が参画し、草刈や清掃作業を実施。

水質浄化・生物多様性保全機能

水生動物の生育環境を保全するため、用水路から小河川等へ放水回数を増やす取組を実施。

水路監視システムを活用し、適正な放水を実施。

防火用水機能

パイプライン施設を活用した防火訓練を実施。

消防署と給水栓使用に係る協定を締結。

各消防署の下部組織である消防分団と給水栓施設の共同管理に向け協議中。



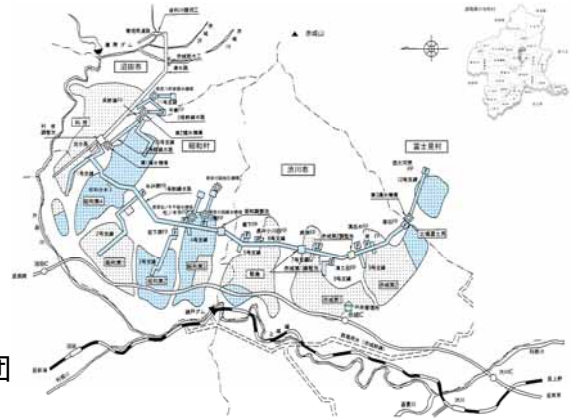
多面的機能の発揮に向けた主な取組

調整池やファームポンドを活用した山林火災等の消火活動を実施するため、消防団及び広域消防本部と施設使用に関する協定を締結。

小学校の緑の少年団と地域保全活動に関する協定を締結し、毎年、親水公園内の清掃活動を協力して実施。

地区概要

管理主体 : 赤城西麓土地改良区
 関係市町村 : 沼田市、昭和村、渋川市、富士見町
 受益面積 : 2,400ha
 主な管理施設 : 揚水機3基、幹線用水路20.8km、
 支線用水路18.4km、調整池17箇所、
 県営揚水機場3箇所、県営管路211km
 地域概況 : 群馬県のほぼ中央に位置する高燥畑作地帯
 推進協議会 : 土地改良区、町、道、国、地元住民代表、消防団
 施設管理協定 : 消防団、小学校



施設が発揮している多面的機能

景観形成機能

第1揚水機場の敷地内には吸水槽を兼ねたせせらぎ池等が設置された親水公園があり、アジサイやツツジ等が植栽され、地域住民の憩いの場としての良好な景観を形成。



親水公園(せせらぎ池)

自然環境保全機能

赤城第二調整池は自然との調和に配慮し、周辺の樹木や草花を自然のまま保全するなど、自然環境に配慮。



赤城第二調整池

防火用水機能

調整池やファームポンド等は緊急防火施設として防火用水機能を発揮し、地区内外の山林火災の消火活動に活用。



給水栓にアタッチメントを取付けての給水

多面的機能の発揮に向けた取組

景観形成機能

小学校への訪問授業等の啓発活動の結果、小学校の緑の少年団と地域保全活動に関する協定を締結。毎年春と秋に親水公園内の清掃活動を協力して実施。



自然環境保全機能

各種イベントに参加し、地域住民に対して赤城第二調整池の自然環境保全機能について啓発活動を実施。



防火用水機能

地域住民及び消防団を対象とした消防訓練に参加。
 消防団及び広域消防本部と施設使用に関する協定を締結。



多面的機能の発揮に向けた主な取組

多くの人々に親水空間を提供しているダムについて、観光整備推進協議会を含む14地域組織が管理の役割分担を明確にした管理協定を締結。行政、地域組織等を巻き込んだ管理活動を実現。

地区概要

- 管理主体 : 笠野原土地改良区
 関係市町村 : 鹿屋市、肝付町
 受益面積 : 4,087ha
 主な管理施設 : 高隈ダム1基、調整池等
 地域概況 : ダムにより3,089haの畑に農業用水を供給しており、ダム及びその周辺は多くの地域住民が親水や安らぎの場として活用
 推進協議会 : 土地改良区、県土連、市、町、県、地元住民代表、受益者代表
 施設管理協定 : 観光整備推進協議会を含む14地域組織、行政



施設が発揮している多面的機能

親水機能

ダム湖は、地域住民だけではなく、地元以外の住民に対しても憩いの場としての親水空間を提供。また、湖岸とダム湖周辺の道路沿いには桜やアジサイが植栽され広く一般住民に親しまれている。



ダム湖畔

アジサイ祭り

防火用水機能

笠野原地域は、防火施設の設置が遅れている地区が多く、また、地域を流れる河川は自流が少なく緊急時の消防用水としての利用が困難な状況。こうした中、地域に設置されたファームポンド4箇所は、緊急防火施設として防火用水機能を発揮。



消火栓及び給水栓の利用

多面的機能の発揮に向けた取組

親水機能

行政、地域組織と連携し、草刈りや流木除去等の清掃活動の実施。多くの人々が訪れることから、立看板を設置し、巡回を増やすなど利用者の安全を確保。

防火用水機能

農業水利施設の消火栓を有効活用するために、土地改良区職員が消防団と連携し、消火訓練等を行い、地域住民にPR。給水栓7,000箇所について、消火ホースがパイプラインに接続可能に。

